

第458号 2018年10月1日  
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

「2018年度 東北史学会・弘前大学国史研究会 合同大会」開催のお知らせ

【内 容】

主 催 東北史学会・弘前大学国史研究会

共 催 弘前大学

(一日目・公開講演) 2018年10月6日(土) 午後1時30分から

会 場 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

(二日目・研究報告会) 2018年10月7日(日) 午前9時30分から

会 場 弘前大学総合教育棟

(考古学部会・日本古代中世史部会・日本近世近代史部会・  
東洋史部会・西洋史部会)

【公開講演 内容】

自然と政治のimbalanceー「天気不正」と「死罪除日」ー  
筑波大学名誉教授 浪川健治 氏

ペントルキア考ーヨーロッパ世界とキリスト教の五本山ー  
一橋大学院経済学研究科教授 大月康弘 氏



むつ市「市民公開講座」開催のお知らせ

最近注目されている免疫療法を考える上で、免疫能の中核として重要な役割を果たす腸内細菌叢（フローラ）と食事、免疫複合療法について専門家から、それぞれ話を聞き、市民の皆様にとって頂く機会とするため、市民公開講座を下記のとおり開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成30年10月14日(日) 13:00~15:00

【会 場】むつ市 公済会館(青森県むつ市小川町一丁目1-5)

【講演内容及び講師】

第1部 座長: 弘前大学大学院 保健学研究科教授 中村 敏也

「免疫力アップ! 食事で胃腸快腸, 快便への道」

むつ総合病院栄養管理科科长 澤田 あゆみ

「がんに対抗できる免疫力『放射線免疫療法複合療法の実際』」

むつ総合病院副院長 真里谷 靖



「新たな臓器：腸内フローラ」

弘前大学 大学院保健学研究科教授 井瀧 千恵子

第2部 座長：むつ総合病院副院長 真里谷 靖

「食生活で変わる！10年後の新たな健康指標とは？

一腸内菌叢と食事，そして健康の深い関係一」

カゴメ株式会社 イノベーション本部 自然健康研究部 鈴木 重徳

【参加対象者】 一般市民・興味のある方はどなたでも

【受講料】 無料

【主催】 むつ総合病院 地域連携部

【協賛】 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター

【お問い合わせ先】 〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

弘前大学保健学研究科 総務グループ 桑田

電話 0172-39-5518 Email [hh\\_hh@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hh_hh@hirosaki-u.ac.jp)

## 白神自然環境研究センター 公開セミナー「地域や来訪者と協働する白神山地の生態系モニタリング」開催のお知らせ

- 日時：2018年10月14日（日） 15時00分 ～ 18時00分
- 会場：コラボ弘大8階 八甲田ホール
- 対象：本学教職員，学生，一般の方 ※事前申込は不要です。

### 4. 要旨：

豊かな自然が残されている白神山地はその一部が世界自然遺産に登録され、地球規模の環境変動のモニタリングの場としてユネスコからも重視されています。このため、生態系のモニタリング体制が築かれており、ブナ林モニタリングには地域の方々も参加しています。

白神自然環境研究センターでは、遺産管理に資することも目指してモニタリングを実施しています。こうしたモニタリングなどの一部に地域の皆さんや来訪者が参加できれば、モニタリングがより一層進むとともに、この地域の自然とその現状に理解がより深まり、しかも通常の観光では得られない充実感を得られる可能性があります。さらに、こうした取り組みをツアー化することができれば新たな観光資源となるなど、多方面への波及効果が期待できます。

日本各地では、地域の皆さんや来訪者が調査研究活動に参加する先行事例があることから、本セミナーでは、北海道中央部の大雪山国立公園においてこうした取り組みを行っている方々からその内容をご紹介します。また、白神山地でのブナ林モニタリング活動についてもご報告いただきます。これらの活動実績を参考にしながら、地域の皆さんや来訪者が白神山地でのモニタリングにこれまで以上に参加・協働する意義と、実施するための方策を考えたいと思います。

5. 主催：弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター

### 6. お問い合わせ先：

弘前大学農学生命科学部附属白神自然環境研究センター 石川幸男

電話・FAX：0172-39-3708

白神自然環境研究センター 公開セミナー

### 地域や来訪者と協働する 白神山地の生態系モニタリング

- 地域ボランティアによる大雪山の高山植物モニタリング  
工藤 岳（北海道大学地球環境科学研究科）
- 利用者参加による大雪山の登山道補修とモニタリング  
山口 和男（山口カヌー探検士事務所）
- 白神山地のブナ林モニタリング調査会の活動  
赤田 巖治（弘前大学農学生命科学部）



※取材に協賛する白神山地の観光地

■2018年10月14日（日）15：00～18：00（14：30開場）  
■弘前大学コラボ弘大 8階 八甲田ホール（入場無料）  
■主催 弘前大学農学生命科学部附属 白神自然環境研究センター  
■問い合わせ 白神自然環境研究センター 石川幸男 0172-39-3708

## 第43回弘前大学経済学会大会のお知らせ

弘前大学経済学会では、第43回大会を下記の通り開催いたします。

今回は青森大学学長の金井一頼氏をお招きし「地域創生とイノベーション」と題するご講演を企画しました。さらに、本学会会員による日頃の研究成果の発表を予定しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。なお大会への参加は無料です。

### 記

第43回弘前大学経済学会大会

日時:2018年10月19日(金) 14:00～17:40

会場:弘前大学人文社会科学部多目的ホール(人文社会科学部校舎4階)

### プログラム

1. 開会挨拶 森 樹男会長(弘前大学人文社会科学部教授) 14:00～14:05
2. 講演  
講師 金井 一頼氏(青森大学学長)  
演題 地域創生とイノベーション 14:10～15:20
3. 研究発表  
発表者 綿引 宣道氏(長岡技術科学大学工学研究院教授) 15:30～16:30  
発表題目 長岡の産業クラスター形成史  
討論者 内藤周子(弘前大学人文社会科学部准教授)
4. 研究発表  
発表者 花田 真一氏(弘前大学人文社会科学部講師) 16:40～17:40  
発表題目 政策間の相互作用が再生可能エネルギー普及に与えた影響  
討論者 飯島裕胤(弘前大学人文社会科学部教授)
5. 懇親会 18:10～20:10  
弘前大学文京キャンパス周辺のお店を会場として、会費4,000円程度を予定しています。参加される方は、学会開催の2～3日前までに事務局までご連絡下さい。

問い合わせ先:

〒036-8560 弘前大学人文社会科学部 弘前大学経済学会事務局(黄)  
TEL(FAX): 0172-39-3287 E-mail: [keizaigakkai@hirosaki-u.ac.jp](mailto:keizaigakkai@hirosaki-u.ac.jp)

## 弘前大学基金事業「UCSF看護短期研修」成果報告会 開催のお知らせ

保健学研究科 放射線看護教育支援センターでは、8月19日から25日にかけてUCSF(カリフォルニア大学サンフランシスコ校)において短期研修を行い、アメリカで活躍する専門看護師との交流やシミュレーション演習の参観、病院見学等を通して、アメリカにおける看護の実際を体験してきました。

この度、成果報告会を開催することとなりましたので、ご興味のある方は、是非ご参加ください。

- 【日時】10月26日(金) 17:45～18:45  
【場所】保健学研究科B棟3階 第33講義室

【内容】○UCSF看護短期研修について

北島麻衣子、會津桂子(放射線看護教育支援センター員)

弘前大学基金事業「米国の放射線看護管理の現状調査及び高度実務看護師との交流プログラム」  
**UCSF看護短期研修 成果報告会**  
8月19日～25日に行われたUCSF(カリフォルニア大学サンフランシスコ校)短期研修の報告会を開催いたします。お気味にご参加ください。



**10/26(金) 17:45～18:45**  
場所: 第33講義室  
(弘前大学大学院保健学研究科B棟3階)

内容  
◆UCSF看護短期研修について  
北島麻衣子、會津桂子(放射線看護教育支援センター員)  
◆研修を受けての学び  
研修参加者 田中小鈴、羽山佳季子  
(第43期看護学修士課程看護学専攻修士2次コース)  
中村理、三浦あづさ、栗原理沙  
(医学部保健学科 看護学専攻)  
◆質疑応答

〒036-8560 保健学研究科 放射線看護教育支援センター 事務局 電話  
Tel: 0172-39-3338 E-mail: [kashimura@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kashimura@hiroshima-u.ac.jp)

○研修を受けての学び

研修参加者：田中小鉄，羽山佳奈子

(博士前期課程放射線看護高度看護実践コース)

中村暖，三浦あづ美，斎藤華歩

(医学部保健学科 看護学専攻)

【参加費】無料(事前申込不要)

【対象】興味・関心のある方はどなたでも参加可能

【主催】弘前大学大学院保健学研究科 放射線看護教育支援センター

\*この事業は、弘前大学基金事業「米国の放射線被ばく管理の現状調査及び高度実践看護師との交流プログラム」の支援を受けて実施しました。

【お問い合わせ】弘前大学保健学研究科 放射線看護教育支援センター(事務担当：柏村)

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1

TEL: 0172-39-5518 E-mail: [kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kashimura-a@hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学大学院人文社会科学研究所 修士論文中間報告会(FD公开发表会)開催のお知らせ

・日時

2018年10月31日(水) 14:30~19:35(予定)

・会場

総合教育棟1階 101講義室

・内容

人文社会科学研究所(修士課程)の大学院生の研究発表

ー発表題目及び発表者ー

電気自動車メーカーの競争優位の比較分析  
陳佳琦(指導教員：森樹男)

電子商取引における他業界に与える影響  
殷金怡(指導教員：森樹男)

中国における日系コンビニの発展について  
金娜(指導教員：森樹男)

中国企業における対日進出モデルについてー買収を中心にー  
金玲(指導教員：森樹男)

満州時代における高木恭造の研究  
栄昊宇(指導教員：渡辺麻里子)

江戸川乱歩作品における〈視覚〉と〈触覚〉  
ー「屋根裏の散歩者」と「人間椅子」を視座としてー  
板垣貴子(指導教員：尾崎名津子)

安部公房『箱男』における「ぼく」と都市の関係  
梁悦(指導教員：尾崎名津子)

女性農業者のライフコースと継承  
長船亜紀子(指導教員：羽瀨一代)

弘前大学大学院  
人文社会科学研究所 修士課程  
Hirosaki University Graduate School of  
Humanities and Social Sciences

学問の深奥を究め、高度職業人を育てる

## 修士論文中間報告会 (FD公开发表会)

日時 2018年10月31日(水) 14:30~19:35  
場所 総合教育棟1階 101講義室

～プログラム～

14:30	開会の辞
14:35~15:00	電気自動車メーカーの競争優位の比較分析 陳佳琦(指導教員：森樹男)
15:00~15:25	電子商取引における他業界に与える影響 殷金怡(指導教員：森樹男)
15:25~15:50	中国における日系コンビニの発展について 金娜(指導教員：森樹男)
15:50~16:15	中国企業における対日進出モデルについて ー買収を中心にー 金玲(指導教員：森樹男)
16:25~16:50	満州時代における高木恭造の研究 栄昊宇(指導教員：渡辺麻里子)
16:50~17:15	江戸川乱歩作品における〈視覚〉と〈触覚〉 ー「屋根裏の散歩者」と「人間椅子」を視座としてー 板垣貴子(指導教員：尾崎名津子)
17:15~17:40	安部公房『箱男』における「ぼく」と都市の関係 梁悦(指導教員：尾崎名津子)
17:50~18:15	女性農業者のライフコースと継承 長船亜紀子(指導教員：羽瀨一代)
18:15~18:40	平安時代における儀式の場と機能 相馬志織(指導教員：武井紀子)
18:40~19:05	海防から見た蝦夷地整備 長尾彩花(指導教員：関根達人)
19:05~19:30	沢大吾研究ーその自然観と科学活動を中心にー 宋貞敏(指導教員：李良)
19:30	閉会の辞

主催：弘前大学大学院 人文社会科学研究所

平安時代における儀式の場と機能  
相馬 志織（指導教員：武井 紀子）

海防から見た蝦夷地警備  
長尾 彩花（指導教員：関根 達人）

洪大容研究－その自然観と科学活動を中心に－  
朱 貞敏（指導教員：李 良）

当研究科の大学院生の研究活動や研究内容にご関心をお持ちの方は、お気軽にご参加ください。  
※入場無料、事前の申込は不要です。

- ・問い合わせ先  
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当  
TEL：0172-39-3941 E-mail：[jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

### 「シミュレーション教育における指導者育成コース・ダイジェスト版」開催のお知らせ

保健学研究科では京都大学医学部附属病院から内藤知佐子先生をお招きし、「シミュレーション教育における指導者育成コース・ダイジェスト版」を開催いたします。

本事業は、被ばく医療に関連するシミュレーショントレーニング教育に携わる教育関係者や医療従事者が基礎的な指導方法を学ぶための研修で、効果的なシミュレーション教育の実践を目指し、指導者に求められるスキルとマインドを修得ことを目的としています。

ぜひお気軽にご参加ください。

【日時】 11月4日（日）10：00～16：00  
【会場】 弘前大学大学院保健学研究科B棟3階 第33講義室  
【講師】 京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター  
クリニカルシミュレーションセンター 内藤 知佐子

氏

【内容】

- ・指導者に求められる7つの心構え
- ・成人教育のコツ
- ・シミュレーション教育とは
- ・学習者体験
- ・効果的なシミュレーション教育実践のコツ
  - －ファシリテーションスキル
  - －デブリーフィングスキル

【参加費】 無料（事前申込制）

【申込】 下記サイトの専用フォームからお申し込みください  
弘前大学保健学研究科被ばく医療人材育成推進プロジェクトHP  
<http://www.hs.hirosaki-u.ac.jp/~hibakupj/>

【対象】 学生，教職員，その他医療従事者（30名程度）

【主催】 弘前大学保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

【お問い合わせ】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田）  
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1  
TEL：0172-39-5518 E-mail：[hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp)



## 弘前大学大学院人文社会科学部 入試説明会のお知らせ

(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜(第2期)〈平成31年度春季入学〉)

・日 時  
2018年11月9日(金) 18:00~19:10

・会 場  
人文社会科学部校舎4階 多目的ホール

・内 容  
入試の説明のほか、研究科の概要説明、個別相談等を行います。  
～プログラム～  
1. 人文社会科学部について  
2. 入学試験(一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜)について  
3. 大学院生の声  
4. 教員からのメッセージ  
5. 院生室見学  
6. 個別相談

・対象者  
人文社会科学部に興味のある方ならどなたでも参加可能です。  
大学院を検討しているすべての学年の方、どうぞご参加ください。  
※事前の申込は不要です。

・問い合わせ先  
弘前大学人文社会科学部 総務グループ教務担当  
TEL: 0172-39-3941 E-mail: [jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学大学院  
人文社会科学部 修士課程  
Hirosaki University Graduate School of Humanities  
and Social Sciences

学問の深奥を究め、高度職業人を育てる

弘前大学大学院 人文社会科学部  
大学院・入試説明会開催

平成31年度春季入学【第2期募集】  
一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜

**11/9(金)**  
**18:00~19:10**

大学院生の声を知ることが  
できます。大学院の制度や生活につ  
いての疑問にもお答えします。大  
学院に院心のある方は、受験の時  
間や学部・学年あるいは学内外を  
問わず、奮ってご参加ください。  
※事前申込不要

日時 平成30年11月9日(金) 18:00~19:10  
場所 人文社会科学部校舎4階 多目的ホール  
内容 1. 人文社会科学部について  
2. 入学試験について  
3. 大学院生の声  
4. 教員からのメッセージ  
5. 院生室見学  
6. 個別相談

お問い合わせ

弘前大学人文社会科学部総務グループ(教務担当)  
TEL: 0172-39-3941 MAIL: [jm3941@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3941@hirosaki-u.ac.jp)

## 第12回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ

弘前大学医学部附属病院が主催で、一般市民を対象に公開講座を開催いたします。  
がんゲノム医療、乳がんについて、専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にはわかりやすく講演  
いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時 : 平成30年12月2日(日) 13:00~15:30
2. 場 所 : 弘前市民会館 大会議室 (弘前市大字下白銀町1番地6)
3. 内 容 : 演題 1 がんゲノム医療って何? ~がんと遺伝子の関係~  
演題 2 私の乳がんは遺伝するのですか?
4. 対 象 : 一般市民(定員100名)
5. 入 場 料 : 無料
6. 事前申込 : 不要
7. 問い合わせ先 : 弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター  
TEL: 0172-39-5174(直通)

## 第20回家庭でできる看護ケア教室開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院看護部主催で、市民の方を対象に、第20回家庭でできる看護ケア教室を開催します。

毎年テーマを替えて開催しており、今回のテーマは、「家庭でできる初期対応」です。

家庭で具合が悪くなった時、街で認知症と思われる人に出会った時に、あわてずに対応する方法を学びます。

たくさんのご参加をお待ちいたしております。

1. 日 時 : 平成30年10月5日（金）13:30～16:00
2. 場 所 : 弘前大学医学部附属病院 看護部研修室
3. 募集人員 : 市民の方30名（先着順）
4. 参加費 : 無料
5. 申込期間 : 平成30年9月10日（月）～10月1日（月）  
平日 8:30～17:00
6. 申 込 先 : 弘前大学医学部附属病院 総合患者支援センター  
TEL 0172-39-5337 担当: 木村 淑子

## 「第18回青森糖質研究会」開催のお知らせ（再掲）

「青森糖質研究会」は、青森県の糖質科学研究の振興と教育の向上、さらに産業の発展に寄与することを目的として平成9年に発足し、産学官の研究者や技術者をはじめとする多くの人の交流・親睦を深める勉強会を開催するなど、諸活動を続けております。

平成30年度は「糖質が握る未来の扉を開く鍵」をテーマに4講演が行われます。

1. 日時 : 平成30年10月5日（金）13:30～17:00（受付開始12:30～）
2. 会場 : 弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階  
八甲田ホール（ホールA&B）  
〒036-8560 青森県弘前市文京町3番地
3. 対象 : 一般市民、弘前大学学生・大学院生・教職員、多数の参加をお待ちしております。
4. 講演 : 13:35～16:55

1. 「天然糖質による神経難病への応用」 丹治 邦和（弘前大学 大学院医学研究科）
2. 「合成化学的手法による機能性糖質材料の開発－食品からウイルス検出プローブまで－」  
尾形 慎（福島工業高等専門学校）
3. 「地域多糖資源の素材化研究」 徳安 健（農業・食品産業技術総合研究機構）
4. 「酵母がつくる機能性糖質エリスリトール～浸透圧ストレス応答とポリオール生成～」  
春見 隆文（一般財団法人日本醤油技術センター）

5. 参加費： 無料
6. 主催：青森糖質研究会（会長 加藤 陽治）  
共催：ひろさき産学官連携フォーラム，日本応用糖質科学会東北支部  
後援：（公財）水谷糖質科学振興財団
7. 申込方法：下記問い合わせ先へお申し込みください。＊当日参加も可
8. URL：<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/~biochel/aotouken/aotouken.htm>

※研究会終了後（17：30～19：30），弘前大学創立60周年記念会館 コラボ弘大 8階 八甲田ホール（ホールC）にて交流会を行います。当日参加も受け付けております。  
（会費 一般：3,000円，学生：1,000円）

問い合わせ先： 青森糖質研究会事務局  
弘前大学大学院医学研究科 附属高度先進医学研究センター  
糖鎖工学講座内 担当：柿崎 育子  
電話：0172-39-5542 E-mail：[kaki@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kaki@hirosaki-u.ac.jp)

### 「災害看護の発展と展望 -看護のリーダーシップと放射線看護への期待-」開催のお知らせ（再掲）

保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会では，兵庫県立大学から増野先生を招いて標題の講演会を開催いたします。

被ばく医療にも関連の深い災害に関する知識基盤の拡充を図り，他職種と連携・協働しながら適切な対応と安全管理ができる看護職者の育成を促進してまいりたいと考えておりますので，ご興味がある方は奮ってご参加ください。

【日 時】 平成30年10月12日（金） 18：00～19：30

【場 所】 保健学研究科 F棟 大学院講義室1（弘前市本町66-1）

【テーマ】  
「災害看護の発展と展望-看護のリーダーシップと放射線看護への期待-」

【講 師】 増野 園恵 氏（兵庫県立大学 地域ケア開発研究所長）

【対 象】 学生・教職員 ほか

【参加費】 無料（事前申し込み不要）

【主 催】 弘前大学大学院保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 総務グループ（担当：桑田）  
〒036-8564 青森県弘前市本町66-1  
TEL：0172-39-5518 E-mail：[hh\\_hh@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hh_hh@hirosaki-u.ac.jp)



### 弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会「世界を照らすLED」のお知らせ（再掲）

学術的に著名な識者を弘前大学に招き，学術講演会を開催することで，学内教職員の研鑽意識を高めるとともに，学生にレベルの高い学習機会を提供すること，また，学外へも広く周知し，地域還元することを目的として下記のとおり弘前大学研究・イノベーション推進機構 学術講演会を開催します。

本講演会では、2014年ノーベル物理学賞受賞 名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩氏をお招きして御講演いただきます。

皆様のご参加をお待ちしております。

■日 時：平成30年10月18日（木）13:30～15:00

■会 場：弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール（先着300名 ※要申込）

■講 師：2014年ノーベル物理学賞受賞  
名古屋大学大学院工学研究科教授 天野 浩 氏

■演 題：「世界を照らすLED」

■詳 細：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/20181018-kouenkai>

■対 象：一般の方，教職員，学生

■申 込：団体名・所属・役職・氏名を記載の上，  
以下の電話番号またはメールアドレスまでご連絡ください。

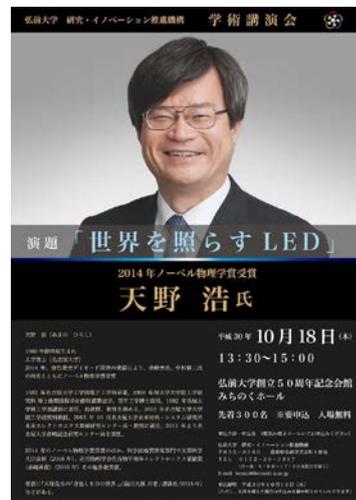
■申込締切：平成30年10月10日（水）  
（ただし，定員を超えた場合は申込みを締め切らせていただきます。）

■入場料：無料

【問い合わせ・申込み先】弘前大学 研究・イノベーション推進機構

T E L：0172-39-3907 E-mail：[kensui@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kensui@hirosaki-u.ac.jp)

H P：<http://www.innovation.hirosaki-u.ac.jp/>



## 平成30年度 弘前大学総合文化祭「知の創造」，保健学研究科 市民公開講座

### 『医療のいろは・放射線は道しるべ』開催のお知らせ（再掲）

放射線画像診断は，身体の外から体内へ  
アプローチする道しるべ

放射線診療はあなたの健康を守る道しるべ

放射線治療は，未来をひらく道しるべ

歯みがきは，未来の健康への道しるべ

この度『医療のいろは・放射線は道しるべ』をテーマに市民公開講座を開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので，参加を希望される方は，当日直接会場にお越しください。多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：2018年10月19日（金）17時30分～19時00分
2. 会 場：弘前大学創立50周年記念会館 2F 岩木ホール
3. テーマ：『医療のいろは・放射線は道しるべ』
4. 内 容：講演1 「子供の歯を守るために。」

細川 洋一郎 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）

講演2 「知っておくと役に立つ放射線検査の基礎知識

～切らずに体の中が見える訳～

齋藤 陽子 先生（弘前大学大学院保健学研究科教授）

5. 入場料：無料



6. 対 象：一般市民・学生

7. 問合せ：弘前大学大学院保健学研究科総務グループ（電話0172-39-5905）

※本事業は「国立大学フェスタ2018」（<http://www.janu.jp/univ/festa/>）に参加しています。

### 医は仁術か？医療に国境はないのか？『国境なき医師団』看護師：白川優子さん講演会（再掲）

1999年ノーベル平和賞NGO『国境なき医師団』看護婦として、シリア、イエメン、ガザ、南スーダンなどで活動されている、白川優子さんに、紛争地での医療の限界、人道的問題など、一般ジャーナリストが伝え得ない内容を語ってまいります。

日程：平成30年10月19日（金）

時間：15:00～17:00 著書サイン会は講演後生協で行います

場所：国立大学法人弘前大学  
弘前大学創立50周年記念会館みちのくホール

講師：国境なき医師団 白川優子

参加費：無料

対 象：学生、本学教職員、一般の方等どなたでも

問合せ先：長瀬 智行

〒036-8561 青森県 弘前市文京町3

弘前大学理工学部電子情報工学科 電話番号0172-39-3632, FAX番号 0172-39-3632

医は仁術か？  
医療に国境はないのか？



シリア、南スーダン、イエメン、ガザ、イラク...  
の現実を『国境なき医師団』看護婦、  
『紛争地の看護師』著者 白川優子さんが語ってくれます。  
10月19日(金) 午後3時～5時弘前大学みちのくホール  
入場無料

### 平成30年度 弘前大学大学院保健学研究科

### 市民公開講座「足の科学からみたスポーツ障害の予防」開催のお知らせ（再掲）

足は万病のもとといわれます。スポーツでけがをしては、せっかく鍛えた成果を充分出せずに終わってしまいます。特に足はどのようなスポーツでも基本になるものです。そこで、昨年に引き続いて、足の機能や形態について科学的見地からスポーツ時の障害予防について講師がわかりやすく説明します。また、足の健康について実際に足部計測して相談にのります。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

【日 時】平成30年10月20日（土）10:00～11:30

【場 所】弘前大学50周年記念会館 岩木ホールAB（弘前市文京町1）

【対 象】一般市民、スポーツ指導者、運動部員、保護者等

【参加費】無料（事前申し込み不要）

【内 容】

講演「足の科学からみたスポーツ障害の予防」

講師：弘前大学大学院保健学研究科 教授 尾田 敦氏

足の健康相談コーナー



【主 催】弘前大学大学院保健学研究科

【お問い合わせ先】弘前大学大学院保健学研究科総務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1 TEL: 0172-39-5905 E-mail: [jm5905@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm5905@hirosaki-u.ac.jp)

## 平成30年度 文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」

### 「看護職の原子力・放射線教育のためのトレーナーズトレーニング」開催のお知らせ（再掲）

この研修は看護教育に係る教員に放射線の知識を深めていただくために開催するものです。将来的には患者さんや原子力・放射線災害時の被災者の方々と最も身近に係わる看護職に、放射線に関する知識・技術を修得していただくことを目的としています。講義とともに放射線測定器による計測や移動型エックス線撮影装置による被ばく線量を測定するなどの演習を行い、放射線を身近に分かりやすく理解できるようにしています。看護職の方も受講できます。

【日 時】 ●第7回トレーナーズトレーニング平成30年10月27日(土)、28日(日)

【場 所】弘前大学大学院保健学研究科（青森県弘前市本町66番地1）

【テーマ】「看護職の原子力・放射線教育のための  
トレーナーズトレーニング」

【対 象】主に看護教育に係わる教育機関の先生方。看護職の方も  
受講できます。（先着20名）

※申込先着順で定員に達し次第、申し込み受付終了とさせていただきます。

【スケジュール】1日目：13時30分～18時00分（会場・受付開始／13：00）

≪講 義≫①放射線利用における看護職の役割  
②原子力・放射線利用の概要及び放射線の基礎  
③放射線による健康影響とリスク

2日目：8時30分～13時00分

≪実 習≫①自然放射線の理解  
放射線測定器を用いた放射線の計測と霧箱による放射線の観察  
②外部被ばくに対する防護方策  
放射線防護の基本となる事項（時間、遮蔽、距離）  
③移動型エックス線撮影装置に対する防護方策  
撮影現場における線量の把握

注）予定時間より延びることがあります。あらかじめご了承ください。

【受講料】無料

「看護と放射線－放射線を正しく理解する」日本アイソトープ協会刊（2016）をテキストとして無料配布します。

【申込方法】Web参加登録 Eメールによる事前申し込みとなります。

●下記URLから申し込み手続きを行ってください。

公益社団法人日本アイソトープ協会 <http://www.jrias.or.jp/>

【主 催】公益社団法人日本アイソトープ協会

【協 賛】弘前大学大学院保健学研究科

\*本事業は、公益社団法人日本アイソトープ協会が、文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業費補助金）」として3ヶ年計画（平成28年度～平成30年度）



で実施しています。

【お問い合わせ先】 弘前大学大学院保健学研究科 総務グループ (担当：柏村)  
電話：0172-39-5518 E-mail：[hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hiro.rns@hirosaki-u.ac.jp)

### 「日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)」開催のお知らせ(再掲)

日本コンピュータ化学会2018秋季年会(弘前)の開催をご案内します。詳しくは下記URLをご覧ください。多くの方々のご参加をお待ちしております。

会 期： 平成30年11月3日(土)～11月4日(日)  
会 場： 弘前大学 創立50周年記念会館  
URL：<http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/sccj2018autumn/>

研究発表主題： ・計算化学(分子軌道法, 分子力学法, 分子動力学法, モンテカルロ法など)

- ・理論化学(電子状態理論など)
- ・情報化学(データベース, ケモメトリックスなど)
- ・数理化学, コンピュータ支援化学教育, その他コンピュータ化学に関する研究

発表形式： ・口頭発表  
・ポスター発表

申込み締切： ・発表申込み： 8月17日(金)  
・講演要旨原稿： 9月18日(火)  
・事前参加登録・懇親会参加予約： 9月18日(火)  
申込みは上記URLの各フォームからお願いします。

特別講演： ・石川顕一 先生(東京大学)  
・長岡正隆 先生(名古屋大学)

一般公開イベント： 1日目(11月3日) 10:00～12:40開催 「科学発信!! Hirosaki」  
一般, 特に高校生向けに学会の一般公開・科学イベントを開催します。計算と化学の面白さを広く知っていただけるようなデモ展示や講演などを実施します。

招待講演： 「みんなのスパコンTSUBAME3.0 “いろんなところで役立つスパコン”」  
渡邊寿雄 先生(東京工業大学)

ブース展示： デモ展示・演習実験, 高校クラブ等のポスター発表

事前の参加申込みは上記URLのフォームからお願いします。

参加費： 無料  
定 員： 80名程度  
申込み締切： 10月12日(金)

※人数に余裕がある場合には当日参加を受け付けます。

主催： 日本コンピュータ化学会

共催： 日本化学会, 弘前大学

協賛： 高分子学会, CBI学会, 触媒学会, 日本薬学会, 分子科学会

お問い合わせ先： 実行委員会委員長 岡崎 功  
実行委員会委員 丹波 澄雄, 宮本 量, 山崎 祥平  
(弘前大学大学院理工学研究科)

(tel 0172-39-3661, email [sccj2018autumn@st.hirosaki-u.ac.jp](mailto:sccj2018autumn@st.hirosaki-u.ac.jp))

## 2018年度弘前大学北日本考古学研究センター企画展

### 『津軽に稲作がやってきた！本州北限の水稻農耕文化』（再掲）

#### 1. 主旨

「環境変動」という言葉も今ではすっかり定着し、歴史を紐解くと、北日本は環境激変によって、他の地域より大きな影響を受けてきました。しかし過去の人々は、新しい農作物の導入や資源の開発・物流拠点の形成という生業的・文化的適応を行うことで、その変化を乗り切ってきました。彼らの知恵を研究し、活用することは、これから突入する環境激変期に適応する大きなカギとなります。北日本には世界的に環境激変期の生態系を知るうえで貴重な考古学的フィールドおよび戦略上不可欠な農作物遺伝資源の研究蓄積・環境分析・材質分析技術があります。

平成28年度より弘前市清水森西・砂沢遺跡、鶴田町廻堰大溜池

(1) 遺跡の発掘調査により弥生・古墳時代の良好な資料群を得られたのを契機に、その調査成果を速報するとともに、北日本における水稻農耕文化への過程をこの地域の考古資料を用いて展示します。本企画展は、これまで非公開だった貴重な資料をふくめ、現在までに得ている成果を一般に公開するとともに、出土したイネの形態・DNA分析といった最新の成果を公表いたします。

#### 2. 開催期間 2018年10月6日（土）～11月11日（日）

10:00～16:00 ※期間中無休 ※入場無料

#### 3. 主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター

共催 弘前市教育委員会

協力 青森県埋蔵文化財調査センター・青森県立郷土館・平川市教育委員会

大館市教育委員会・大鰐町教育委員会・田舎館村教育委員会・六ヶ所村教育委員会  
大阪府立弥生文化博物館

#### 4. 会場

弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室

〒036-8560 青森県弘前市大字文京町1番地 弘前大学文京町キャンパス 総合教育棟2階

問い合わせ先 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター

電話：0172-39-3190

メール：[kamiyo@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kamiyo@hirosaki-u.ac.jp)



## 学 内 掲 示 板

### 弘前大学出版会から新刊のご案内

学内限定テキストを出版しました。

#### ◆理工学部機械科学科 編

「機械科学科 基礎物理学実験の手引き（平成30年度版）」  
(A4判, 106頁, 定価1,296円) (本体1,200円+税【8%】)

#### ◆理工学部電子情報工学科 編

「電子情報工学実験Ⅱ 2018年度版」  
(A4判, 94頁, 定価1,296円) (本体1,200円+税【8%】)

受講の方は大学生協でお買い求め下さい。



### 学生特別支援室相談会開催のお知らせ

弘前大学学生特別支援室は、障害等により修学や学生生活に困難のある学生からの相談に応じ、よりよい学生生活が送れるよう支援しています。

このたび、教職員と障害等のある学生の支援について話し合うまたは相談し合うための機会として以下の日程で相談会を開催します。

障害等のある学生の支援に苦慮している、支援室スタッフに尋ねたいことがある、あるいは障害学生支援に関心がある教職員の参加をお待ちしています。事前の申込みは不要です。

開催日： H30年 10月25日（木）、11月22日（木）、12月20日（木）  
H31年 1月24日（木）、2月28日（木）

時間： 14：30～15：30（時間内は出入り自由です。）

場所： 附属図書館3階 グループラーニングルーム

対象： 本学の教職員

参加スタッフ： 室長、コーディネーター、カウンセラー、学生課職員

問い合わせ先： 弘前大学学生特別支援室  
TEL：0172-39-3266（内線3266）  
E-mail：[g-shien@hirosaki-u.ac.jp](mailto:g-shien@hirosaki-u.ac.jp)

### 弘前大学創立70周年記念事業について

弘前大学は昭和24（1949）年5月に新制大学として発足して以来、平成31（2019）年に創立70周年を迎えます。

創立70周年に際して、国際化や男女共同参画の推進、学生支援の充実など、主として創立80周年までの10年間の教育研究の向上に資する事業を実施すべく計画を立てております。

ついては、多くの役職員の皆様から募金にご協力いただいているところではございますが、創立70周年記念事業を成功させるため、更なるご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、創立70周年記念事業のホームページでは、クレジットカードによる寄附も可能でございますので、ご活用いただければ幸いです。



【弘前大学創立70周年記念ロゴマーク】

【創立70周年記念事業ホームページ】<http://fund.hirosaki-u.ac.jp/70thproject.html>

○70周年のロゴマークを使用したパソコンの壁紙を作成しました。

下記URLからご覧いただけます。

<https://www.hirosaki-u.ac.jp/36723.html>

### 国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第47号」では、「発見！国立大学」において、弘前大学公式ウェブマガジン「HIROMAGA（ヒロマガ）」が紹介されています。ぜひご覧ください。

（本学関連記事掲載）最新号「国立大学第49号」

<http://www.janu.jp/report/koho/49gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/>

その他、第45号・第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会，研究発表会，部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに，下記担当にご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部総務広報課 広報グループ

E-mail: [jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) FAX:37-6594 内線：3029